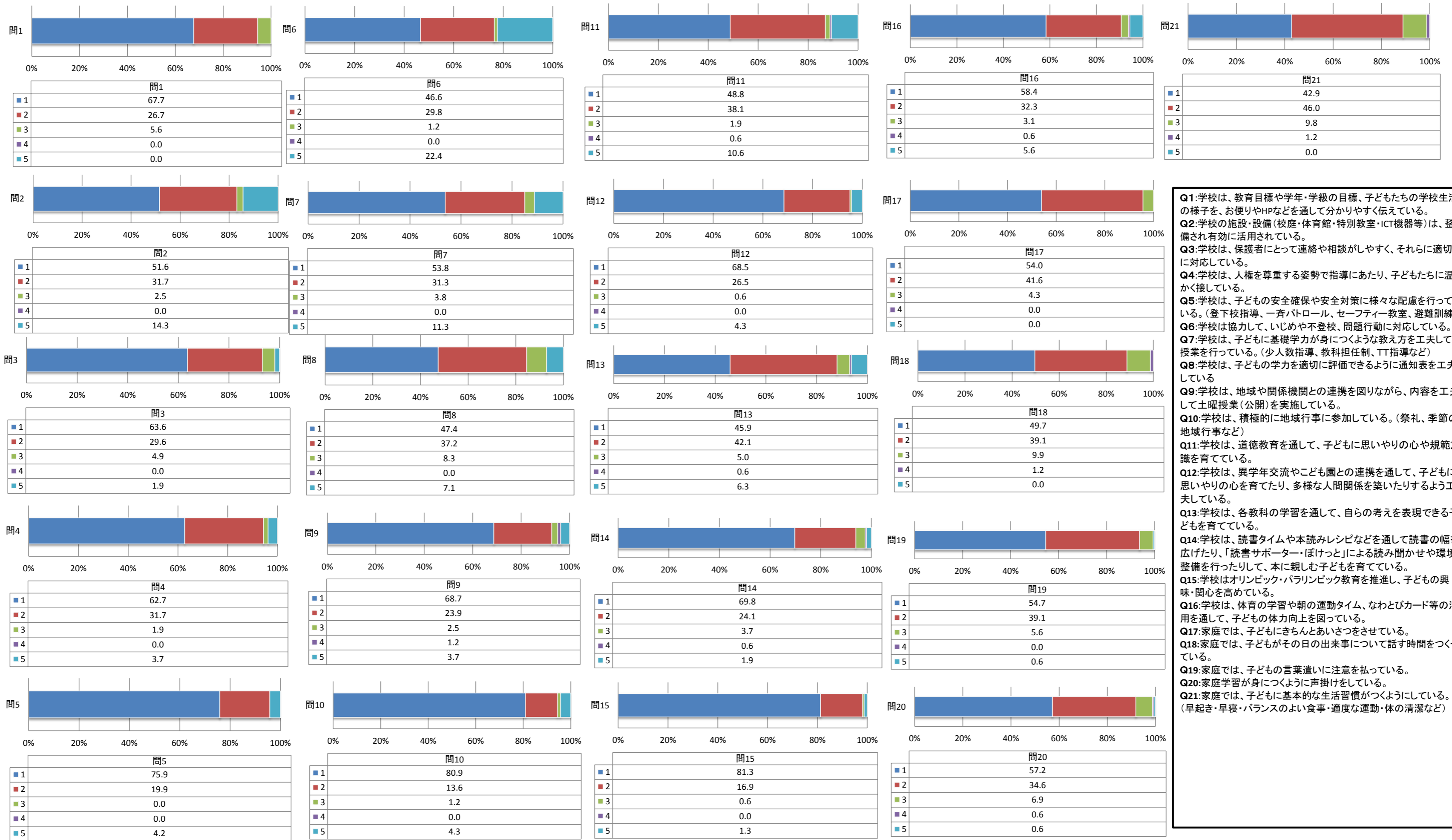


平成28年度 和泉小学校 学校評価集計 (回答163世帯...71.5%)

保護者の皆様 ご協力 ありがとうございました。本年度の学校評価の結果を活かして、次年度の和泉の教育をつくっていきます。

1 よくあてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 まったくあてはまらない 5 わからない



Q1:学校は、教育目標や学年・学級の目標、子どもたちの学校生活の様子を、お便りやHPなどを通して分かりやすく伝えている。
Q2:学校の施設・設備(校庭・体育館・特別教室・ICT機器等)は、整備され有効に活用されている。
Q3:学校は、保護者にとって連絡や相談がしやすく、それらに適切に対応している。
Q4:学校は、人権を尊重する姿勢で指導にあたり、子どもたちに温かく接している。
Q5:学校は、子どもの安全確保や安全対策に様々な配慮を行っている。(登下校指導、一斉パトロール、セーフティー教室、避難訓練)
Q6:学校は協力して、いじめや不登校、問題行動に対応している。
Q7:学校は、子どもに基礎学力が身につくような教え方を工夫して授業を行っている。(少人数指導、教科担任制、TT指導など)
Q8:学校は、子どもの学力を適切に評価できるように通知表を工夫している。
Q9:学校は、地域や関係機関との連携を図りながら、内容を工夫して土曜授業(公開)を実施している。
Q10:学校は、積極的に地域行事に参加している。(祭礼、季節の地域行事など)
Q11:学校は、道徳教育を通して、子どもに思いやりの心や規範意識を育てている。
Q12:学校は、異学年交流やこども園との連携を通して、子どもに思いやりの心を育てたり、多様な人間関係を築いたりするよう工夫している。
Q13:学校は、各教科の学習を通して、自らの考えを表現できる子どもを育てている。
Q14:学校は、読書タイムや本読みレシピなどを通して読書の幅を広げたり、「読書サポーター・ぼけっと」による読み聞かせや環境整備を行ったりして、本に親しむ子どもを育てている。
Q15:学校はオリンピック・パラリンピック教育を推進し、子どもの興味・関心を高めている。
Q16:学校は、体育の学習や朝の運動タイム、なわとびカード等の活用を通して、子どもの体力向上を図っている。
Q17:家庭では、子どもにきちんとあいさつをさせている。
Q18:家庭では、子どもがその日の出来事について話す時間をつくっている。
Q19:家庭では、子どもの言葉遣いに注意を払っている。
Q20:家庭学習が身につくように声掛けをしている。
Q21:家庭では、子どもに基本的な生活習慣がつくようにしている。(早起き・早寝・バランスのよい食事・適度な運動・体の清潔など)

○全体として、昨年度と大きく変化したデータはなく、全ての項目において「1. よくあてはまる」「2. ややあてはまる」の割合が、75%を越えました。
 ○「5 わからない」の割合が多いのは、『問2 施設・設備の有効活用』『問7 基礎学力に関すること』『問12 道徳教育に関すること』でした。来年度は、学校での取組が、保護者の皆様に見えるような教育活動を展開していければと考えています。
 ○「1よくあてはまる」が最も多い項目は、『問15 オリンピック・パラリンピック教育の推進』です。2020年に向け、さらに児童の興味関心を高める取組を行っていきます。